

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2030年のありたい姿

貨物輸送とエネルギー輸送の両輪経営で、高いコスト競争力と提案営業力を有する物流エキスパート企業を目指す

営業収益
600億円以上経常利益
20億円以上投資額
120億円

② 中長期の経営戦略

1. 提案営業力の強化

営業開発部による新規顧客開拓と既存顧客の深耕。営業情報システムでの迅速な情報共有

3. 次期成長分野拡大

機工・リサイクル物流・食品流通・潤滑油化成品分野へのM&Aや資本参加を積極実行

2. コスト競争力の強化

ハンディターミナル導入、デジタコデータ活用、自動点呼への対応など2025年度DX実装を目指す

4. 2024年問題への対応

適正運賃交渉、発注適正化、デジタコデータ活用システムの全車導入で物流効率化を推進

③ 対処すべき課題

① ドライバー不足への対応

- ・適正運賃・料金の収受によるドライバー待遇改善
- ・採用活動強化とホームページ・SNS活用
- ・持続可能な物流体制の維持強化

② 海外物流の不確実性対応

- ・中国経済成長鈍化による取扱低迷への戦略見直し
- ・米国関税政策の不確実性への対応
- ・海外から国内への設備輸送強化で新規業務獲得

③ ESG経営の推進

- ・運輸安全・労働安全衛生・脱炭素を最優先課題に設定
- ・ダイバーシティ推進でエンゲージメント向上と職場環境整備
- ・人財の確保・定着に向けた施策強化

面接で使えるポイント

- ・2030年のありたい姿として営業収益600億円以上、経常利益20億円以上を目指し…
- ・物流2024年問題やドライバー不足の課題に対し、適正運賃交渉やDX実装…
- ・ベトナムのSANCOPACK社との資本業務提携やM&Aを通じた次期成長分野拡大に携わり…

証券コード 9067

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
461億円営業利益率
2.7%財務健康度
43点 /100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 56.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
692万円

陸運業内 26位/57社

平均年齢
45.3歳

陸運業内 19位/57社

平均勤続
17.7年

陸運業内 16位/57社

女性管理職
4.7%

陸運業内 30位/46社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: (株)丸運【9067】：決算情報

